団体名：　特定非営利活動法人故郷まちづくりナイン・タウン
事業名：　被災者の交流を支えるフリーペーパー「かわす」の充実化プロジェクト　ロジックモデル

インプット

人　材
・運営スタッフ　4名

費　用
・総事業費
5,122,200円

連　携
・地元商店、事業所
・地域密着ｽｰﾊﾟｰ
・宅配事業者
・手創り市出店者
・同ボランティア
・社会福祉協議会
・地域住民

活動

地域コミュニティ支援
移転先などの防災・暮らしの各種ワークショップ講師・受講双方で地域参加を促す。

社会参加型投稿フリーペーパー「紙SNS交わす」の発刊
過疎地域における被災住民の社会参加を促す

子育て世代支援
地域役立ち情報発信による社会参加促進と配布協力

広報・配布作業連携
地域密着型地元スーパーとの連携による配布・イベント開催

アウトプット

2年度目となり、隔月フリーペーパー発行
・「のんびり対話」をコンセプトに、被災地の復興住宅や移住先の高齢者、子育て中の方々の元気な暮らしぶりを投稿や取材で受発信し、元気な知り合いの便りが届くことで生き甲斐が育まれる。
（毎号50,000部）

・毎月１回はWSや手創り市などで、交流しやすい環境を整備
・実店舗による販売促進を紙面でも支援し、持続可能性を高める。
・多様なステークホルダー参加を促す。

アウトカム

初期

・紙による投稿が、被災高齢者や子育て世代の社会参加意欲を高める。

・地元商店等の身近な情報や高齢者の暮らし支援情報、子育て世代の情報が充実し、安心できる地域づくりに貢献。

住民の社会参加によるシビック・プライドの向上が図れる。

中期

・投稿記事を集めた冊子を発行し、参加継続性を強める。

・投稿者の交流会を開催。

・スマホに対応するアプリを開発し、子育て世代の交流を機動的にし、施策提言まで目指す

・関係人口を増加させ、購読者を拡大。組織強化を図る。

後期

・投稿内容を充実化し、毎月発行に。

・地域情報を広く内外に発信し交流人口の増加により域内での経済効果を生み出す。

・投稿者の交流充実

・被災者や一般住民の垣根を外すための取り組みを充実化。

過去の取り組み

・復興庁委託事業：交流促進による生きがいづくりと情報共有の復興まちづくりプロジェクト
・宮城県委託事業：南三陸の記憶を記録で伝える【防災BOOKワークショップ】プロジェクト